

# 炭素シートで節電壁紙

大津市の炭素製品開発会社「大木工芸」と龍谷大(京都市)は二十四日、炭素シートを組み込み、断熱、蓄熱性を持たせた業界初の壁紙「カーボンウェブ」を開発したと発表した。石膏ボードのみの部屋に比べ、冷房では85%、暖房では50%の節電効果があるといい、家庭やオフィスでの普及を目指す。

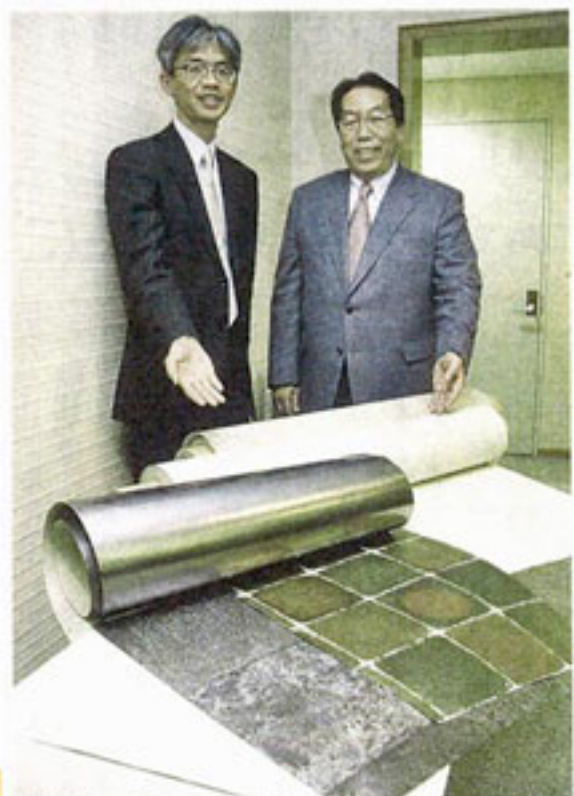
## 龍谷大と業界初開発 大津の会社

炭素シートはこれまで、炭素シートと複数ので、コンピュータの断熱材のシートを一枚に張り、熱材などに使われてきたり合わせる独自技術を開発が、破れやすく大きな面積を、柔軟性も持たせた。での加工が難しかった。壁紙は四層構造。表面今回、熱と圧力を加え、クロスの下に炭素シ

冷房85%、暖房50%効果

ト、三層目に冷気や暖気を蓄えやすい物質を含んだ蓄熱層、一番下に燃えにくい防火紙を張った。炭素シートが、素早く熱を拡散させる半面、下層には熱が伝わりにくい構造になっている。炭素シートから防火紙まで二層の厚さは〇・三センチで、同じ厚さのアルミを蓄えやすい物質を含んだ蓄熱層、一番下に燃えにくい防火紙を張った。炭素シートが、素早く熱を拡散させる半面、下層には熱が伝わりにくい構造になっている。

ロスには二重に合わせ、炭素シートが、素早く熱を拡散させる半面、下層には熱が伝わりにくい構造になっている。炭素シートが、素早く熱を拡散させる半面、下層には熱が伝わりにくい構造になっている。炭素シートが、素早く熱を拡散させる半面、下層には熱が伝わりにくい構造になっている。



炭素シートを張って断熱、蓄熱性を持たせた壁紙「カーボンウェブ」=京都市の龍谷大で

京都市伏見区龍谷大学にて合同プレス発表

